

世界の平和と安定のためにも 今こそ日米同盟の強化を望む

ウクライナや中東における戦禍が伝えられる中、世界はその平和と安定を達成し維持していくために大きな局面を迎えつつあると思います。

世界がその岐路に立っている今だからこそ、高市総理とトランプ大統領の初の会談が行われ、日米同盟の更なる強化が宣言されたことは大きな意義があると言えるでしょう。

いまこそ日米同盟をさらに強化し、新しい時代に向けての進化を進めて欲しいと思います。

冷戦終了後の世界において、今ほど日米同盟の真価が問われる時代はないのではないのでしょうか。

就任当初から関税問題や米国内の内向的な政策に終始していたトランプ大統領でしたが、ようやく世界平和に向けて動き出した今だからこそ、高市総理がそれをサポートし、米国と共に世界平和を達成することは、日米同盟における最大のポイントだと言えるのです。

日本が米国とともに国際秩序の守護者となり、世界の安定と平和の達成に貢献し寄与できることは、未来に向けて大きな意義を持つことになると思います。

2025年10月28日午後3時45分。

高市総理とトランプ大統領は、米軍横須賀基地の航空母艦ジョージ・ワシントンを訪ねました。

米国大統領と日本の新たな首相が文字通り共に手を携えて、日米同盟がより高みに上っていくことを高らかに宣言したのは素晴らしい光景でした。

これまでにない日米同盟の強固な絆は、世界の平和実現に大きく貢献することでしょう。

日本と米国が、新たな黄金時代を共に築きあげるようになることを願って止みません。

この強固なる日米同盟を背景に、2025年11月に南アフリカ・ヨハネスブルグで開催されたG20、そして韓国・慶州で開催されたAPEC、さらに2026年5月に米国・フロリダ州で開催される予定のサミットなどの席上において、日本が米国と共に世界平和に大いに貢献してゆく姿勢を高市総理が明確に発信していくことは、これからの世界において重要な役割を果たすことを示す大きな機会であると思います。

その発信は、日本が戦後80年を通じて築き上げてきた恒久的な平和の証であり、唯一の被爆国である日本だからこそ発言することが可能なメッセージなのです。

世界平和のためにも、いっそうの日米同盟の強化と推進を願っています。

本誌主幹

大中告一